

新規需要米向け多収性水稻品種に対する4-HP PD阻害型除草剤による薬害について

近年、全国的に作付面積が急速に拡大している新規需要米向けの多収性水稻品種を栽培する一部の現地水田において、除草剤に起因する甚大な薬害の発生事例が報告された。(独)農業・食品産業技術総合研究機構が詳細を調査した結果、一部の多収性品種で、4-HP PD阻害型除草剤に強い感受性を示し、通常の除草剤使用でも枯死に至る場合があることが報告されている(渡邊ら, 2010)。

したがって、次に示す水稻品種に対して、4-HP PD阻害型除草剤を有効成分として含む除草剤を使用しないよう徹底する必要がある。

1 4-HP PD阻害型除草剤に感受性を有する品種

タカナリ, モミロマン, ミズホチカラ, ルリアオバ, ハバタキ, おどろきもち, 兵庫牛若丸, 華麗舞, 夢十色, やまだわら

2 4-HP PD阻害型除草剤(有効成分名)

ベンゾビシクロン, メソトリオン, テフリルトリオン

3 参考文献

- (1) 渡邊寛明・小荒井晃・橘雅明・川名義明・赤坂舞子・加藤浩 2010. 飼料用イネや米粉等の新規需要米向け多収水稻品種の4-HP PD阻害型水稻除草剤に対する感受性. 日作紀 79 (別 1)
- (2) 渡邊寛明・小荒井晃・橘雅明・川名義明・赤坂舞子・加藤浩 2010. 新規需要米向け水稻品種の4-HP PD阻害型除草剤に対する感受性. 平成 21 年度関東東海北陸農業研究成果情報
- (3) 米とワラの多収を目指して 2013, 農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究所 ISBN978 - 4-904633-05-2